

歯科材料 02 歯冠材料
管理医療機器 アクリル系歯冠用レジン (70811010)

ジーシー レボテック LC

【禁忌・禁止】

メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状

- ・円柱状ペースト 16 g

主成分

- ・メタクリル酸エステル、シリカ微粉末、有機無機複合フィラー

原理

光重合によりペースト中のモノマーが重合し粘性が上がり重合硬化に至る。

特性

(試験方法：JIS T 6518)

項目	JIS 規格値	参考値
硬さ (HV0.2)	10 以上	11.2
曲げ強さ (MPa)	50 以上	51.0

【使用目的又は効果】

本品は、ペースト状光重合型アクリル系歯冠用レジンであり、口腔内にて 1～2 週間使用する暫間補綴装置を作製するために使用する。*

【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

- 1) 光照射の時間が短いと、見かけ上硬化していても充分な硬化が得られず、変着色を起こしやすくなるので注意すること。
- 2) ペーストがアンダーカットに入り込んだまま光照射を行うと、撤去が困難になるので注意すること。
- 3) 付形作業後に残ったペーストは、容器等に戻さず廃棄すること。(長時間光を浴びているため保存できません。)

【使用方法等】

【口腔内直接法】

- 1) 収納用ケースへのペーストの収納：アルミ袋に封入されているペーストを、イントロダクトリーセットに付属している収納用ケースに移します(収納用ケースに移さなくても使用できます)。ペースト詰め替え時には、必ずケース内部を確認し、汚れている場合はアルコールワッテなどで清掃を行います。
- 2) ペーストの採取：プラスチックヘラなどでペーストを適量切り取ります。切り取ったペーストは支台歯に圧接しやすいように手指で形を整えておきます。ペーストを柔らかくしたい場合は、手指で数回揉みます。ペースト採取後は、すぐに収納用ケース(又はアルミ袋)のフタを閉めて、ペーストに光が当たらないようにします。
- 3) 支台歯への圧接の準備：支台歯と隣在歯のスペースに、ペーストを確実に入り込ませるための準備を行います。支台歯と隣在歯のスペースに入り込みやすいような形状にしておくか、スペースにあらかじめペーストを挿入しておく効果的です。
- 4) 支台歯へのペーストの圧接：ペーストを支台歯に圧接し、手指やプラスチックヘラにて大まかな付形を行います。手指やプラスチックヘラにジーシー ココアバターを塗布することで、ペーストの付形性が向上すると共に、表面をより滑沢にすることができます。
- 5) ペーストの付形-1：軽く噛ませることによって、咬合面の印記及び咬合調整を行います。また、頬側面のマージン調整・付形も行っておきます。

- 6) ペーストの付形-2：必要に応じて、再度マージン部の調整及び隣接面・舌側面を付形します。余分なペーストがある場合は、プラスチックヘラやインスツルメントなどを用いて除去します。また、アンダーカット部にペーストが入り込んでいる場合は、探針などを用いて除去します。長時間に渡って付形作業を行うと、ベタ付いてくる場合があります。この様な場合は、手指及びインスツルメントにジーシー ココアバターなどを塗布します。付形作業後に残ったペーストは、容器等に戻さず廃棄します。(長時間光を浴びているため保存できません。)
- 7) 予備重合：口腔内からの撤去時に変形することを防ぐため、口腔内にて予備重合を行います。可視光線歯科重合用光照射器(ジーシー ニューライト VL-II、コービー)の場合、1 歯あたり 10 秒間程度、プラズマアーク歯科重合用光照射器(ジーシー フリップ)の場合、1 歯あたり数秒かけて頬側面、隣接面、咬合面、舌側面の順で、ペースト全体に光照射を行います。予備重合したテックの撤去・試適は、支台歯に対して垂直方向に行います。*
- 8) 最終重合：口腔外にて最終重合を行います。ハンディタイプ可視光線歯科重合用光照射器(ジーシー ニューライト VL-II、コービー)の場合は、各面毎に 20 秒ずつ、プラズマアーク歯科重合用光照射器(ジーシー フリップ)を用いる場合は、各面毎に 3～5 秒ずつ、ボックスタイプの歯科技工用重合装置(ジーシー プチライト PL-I、ジーシー ラボライト LV-III)を用いる場合は、3 分以上光照射を行います。テック内面からも、必ず光照射を行います。各光照射器による照射時間と硬化深度の関係については以下の表を参照し、充分な光照射を行います。*

光照射時間と硬化深度

	1 mm	2 mm	3 mm	4 mm
ニューライト VL-II ^{※1} コービー ^{※1}	—	—	10 秒	30 秒
フリップ ^{※2}	—	—	3 秒	5 秒
G-ライト ^{※3}	—	5 秒	10 秒	20 秒
プチライト PL-I ^{※4} ラボライト LV-III ^{※4}	30 秒	1 分	3 分	15 分

※1 ニューライト VL-II、コービー：ハロゲンランプを採用した歯科重合用光照射器 **

※2 フリップ：キセノンランプを採用した歯科重合用光照射器 **

※3 G-ライト：LEDを採用した歯科重合用光照射器、ただし、LED採用他社製歯科重合用光照射器を使用する場合は、[使用方法等に関連する使用上の注意]を参考にすること。*

※4 プチライト PL-I、ラボライト LV-III：蛍光管を採用した歯科技工用重合装置 **

- 9) 形態修正・研磨：技工用カーバイドバーやシリコンポインティングバーを用いて形態修正を行います。不足部分は本品、もしくはジーシー ユニファスト II やジーシー ユニファスト III を用いて追加築盛を行います(プライマーなどは必要ありません)。仕上げにバフ研磨を行うことで、ツヤのあるきれいなテックが完成します。硬化体の切削には、技工用カーバイドバーの使用をお勧めします。スムーズカットなどの目の細かいバーやスチールバーは、切削効率が劣ったり、未重合層を残したまま研磨を行うと、バーへの巻き付きを起こす場合があります(未重合層部分はカーバイドバーで削除するか、アルコールで除去します)。ジーシー ユニファスト II やジーシー ユニファスト III にてテック内面をウォッシュする場合は、テックの咬合面が頬側面に穴を開けて余剰レジンを排出させることで浮き上がりを防げます。
- 10) 完成：完成したテックはジーシー フリージノールテンポラリーバック等を用いて仮着します。*

〔間接法〕

- 1) 模型上でテック作製を行う場合は、本品と接触する部分にココアバターを少量塗布した後、口腔内直接法と同様の作業を行います。

＜口腔内直接法・間接法共通の使用法（既成の暫間修復冠／シェル(ジーシー シェルテック、クラウンS)との併用の場合）＞

- 1) シェルテック使用の場合：
別売のジーシー デンチャープライマー又はレジンプライマーを、シェルテックの内面に塗布します（プライマー塗布前にペーパーコーンなどでシェルテック内面を荒らしておく、より安定した接着が得られます）。ペーストを支台歯に圧接後、シェルテックを圧接・付形し、頬側面、舌側面の順に予備重合のための光照射を行います。口腔内撤去後は、直接法と同じ方法で最終重合・形態修正・研磨を行い完成させます。 **
- 2) クラウンS使用の場合：
別売のジーシー デンチャープライマー又はレジンプライマーを、クラウンSの内面に塗布します（プライマー塗布前にペーパーコーンなどでクラウンS内面を荒らしておく、より安定した接着が得られます）。ペーストをクラウンS内に充填し、支台歯に圧接します。クラウンSの外側から、予備重合のための光照射を行います。口腔内撤去後は、直接法と同じ方法で最終重合・形態修正・研磨を行い完成させます。 **

〔使用方法等に関連する使用上の注意〕

- 1) 上記の表以外の歯科技工用重合装置及び歯科重合用光照射器を使用する場合、硬化深度以上の厚みのある症例では、次表を参照して数回に分けて築盛し、それぞれ光照射を行うこと。 **

	1 mm	2 mm	3 mm	4 mm
L E D歯科技工用重合装置※1	10 秒	30 秒	1 分	3 分
L E D歯科重合用光照射器※2 (700 mW/cm ² 以上)	10 秒			20 秒
L E D歯科重合用光照射器※3 (2000 mW/cm ² 以上)	6 秒			

・L E D歯科重合用光照射器：光源が青色L E Dで発光スペクトルのピークトップが450～480 nm

※1：例えば

ジーシー ラボライト DUO

※2：例えば

GーライトプリマIIPlus 10 モード1回又は2回
スリムライト Low モード1回又は2回

※3：例えば

GーライトプリマIIPlus F 3モード（3秒×2回）
スリムライト High モード（3秒×2回）

他社L E D可視光線照射器については、有効波長が400～515 nmのもの（波長域400～515 nm全ての領域の光を照射できるもの）を使用すること。

- 2) 収納用ケースに移す際、及びペースト採取時は、ペーストに汚れが付着しないよう注意すること。
- 3) ペーストがベタ付きやすくなり、操作性が著しく低下することから、使用前に本品を温めないこと。
- 4) 過度にペーストを揉むと、ベタ付きにつながるので注意すること。
- 5) ペースト採取後、未使用部分はすぐに収納用ケース（又はアルミ袋）に戻してフタを閉め、ペーストに光が当たらないようにすること。
- 6) ペーストの付形性などを向上させるためにジーシー ココアバターなどを使用した場合、レジン表面にジーシー ココアバターが残った状態で追加築盛を行うと、十分な接着力が得られないので注意すること。
- 7) 必ずテック内面からも光照射を行うこと。〔一塊で重合させる場合、片面からの光照射では十分な硬化が得られない可能性がある。〕
- 8) ハンディタイプの歯科重合用光照射器を使用する場合、良好に重合できる範囲はファイバーロッドの断面積に依存する。断面積以上の広範囲に光照射を行う場合は、数箇所に分けて行うこと。 **

- 9) 追加築盛を行う場合には、気泡が混入しないように注意して圧接すること。
- 10) 硬化深度は歯科技工用重合装置及び歯科重合用光照射器の照射能力に依存するので、定期的に清掃及びランプの交換などのメンテナンスを行うこと。 **

【使用上の注意】

- 1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本品及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
①本品の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
②本品に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は本品を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
③本品の未重合物は、接触による過敏症を防ぐため、プラスチック手袋、ゴム手袋等を使用し、直接素手で触れないこと。又、口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入ったりしないように注意すること。また、本品が衣服やその他の機器に付着しないように注意すること。軟組織や皮膚に付着した場合は、すぐにアルコール綿等で拭った後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。 **
④重合したレジンは水中に保存し、残留モノマーを溶出させてから口腔内に装着すること。〔過敏症を誘発する可能性がある。〕
⑤本品は可燃性であることから、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
⑥光照射の際は、保護メガネなどを使用し、照射光を直視しないこと。〔目を痛める可能性がある。〕
⑦本品は他の材料と混用しないこと。〔製品本来の性能が得られない可能性がある。〕
⑧本品は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
⑨本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
⑩本品については、試験によるMR安全性評価を実施していない。（自己認証による） *

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕 **

- 1) 暗所で保管する（4～25℃）。
- 2) 本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。
- 3) 本品は光により重合を開始する特性を有しているため、必要量採取後は速やかに容器を密封し遮光する。

〔有効期間〕

本品は、包装に記載の使用期限※までに使用する。

※（例 2030-06 は
使用期限2030年 6月 を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 ： 株式会社ジーシーデンタルプロダクツ

主たる設計元 ： 株式会社ジーシー

発売元 ： 株式会社ジーシー

住所 ： 〒113-0033

東京都文京区本郷3丁目2番14号

電話番号 ： （お客様窓口）0120-416480